

令和5年度 寄居町立各小・中学校「命を大切にする週間」取組内容

道徳の授業の実施

(内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)(教材名 ハムスターの赤ちゃん)を実施し、身の回りの小さな生き物の命について考え、話し合うことを通して、生命のもつたくましさやすばらしさ、尊さについて考えることができた。児童の振り返りでは、「命は一つしかないたからものなので、大切にしたい」と、命を大切にしていきたいという意識を高めていた

寄居小学校 1年1組

道徳の授業(内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)(題材名 ハムスターの赤ちゃん)を実施した。資料から登場人物の心情を考えさせ、児童同士で意見を伝え合う場を設定した。児童は、かわいい赤ちゃんを育てるお母さんの気持ちについて考えを深め、これからも命を大切にしようという意欲を高めていた。

寄居小学校 1年2組

2年1組で道徳の授業(内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)(題材名 大切なたからもの)を実施し、資料から登場人物の心情を考えさせ、児童同士で意見を伝え合う場を設定した。児童の振り返りでは、「一人一人の命はみんな大切なたからもので、自分の命も、人の命も大切にしたい。」と、命に対しての意識を高めていた。

寄居小学校 2年1組

道徳の授業(内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)(題材名 大切なたからもの)を実施し、資料から登場人物の心情を考えさせ、児童同士で意見を伝え合う場を設定した。児童の振り返りでは、「今日まで大きくなれたのは家族のおかげ。いろいろな人に支えられて生きている」ということに気づき、命を大切にしていきたいという意識を高めていた。

寄居小学校 2年2組

授業参観で道徳の授業(内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)(教材名 家族のアルバム)を実施し、資料から考えさせ、児童同士で学び合う場面を設定することで、児童が命について主体的に考えることができた。児童の振り返りでは「命は一つしかないものなので、自分の命も人の命も大切にしたい」と決意する姿が見られた。

寄居小学校 3年1組

授業参観で道徳の授業(内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)(教材名 家族のアルバム)を実施し、自分の命も他の人の命もかけがいのない大切なものであるということを見童一人一人がじっくり考えることができた。見童の振り返りでは、「命があるから友達にも家族にも会える。命は一つしかないので、自分の命も友達も命の大切にしたい。」と決意する姿が見られた。

寄居小学校 3年2組

校内放送で宮越由貴奈さんの「命」の詩を聞いた後、道徳の授業(内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)(教材名 命一せいいっぱい生きる一)も合わせて実施した。命の大切さについて考えるとともに、自分だけでなく他者の命もかけがえのないものであると考える機会となった。また、これからの生活で命を大切にしていきたいと意欲をもつ見童が多くいた。

寄居小学校 4年1組

校内放送で宮越由貴奈さんの「命」の詩を聞いた後、道徳の授業(内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)(教材名 命一せいいっぱい生きる一)も合わせて実施した。由貴奈さんが考える「命」について話し合うことを通して、一つしかない命の尊さに対する考えを深め、自分や他人の命はかけがえのないものであり、命を大切にしていこうという意欲を高めていた。

寄居小学校 4年2組

道徳の授業(内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)(教材名 オオカミから教えられたこと)を実施し、登場人物が行ったオオカミへの治療について話し合うことから、「命をかがやかせる」ことへの考えを深めた。見童の振り返りでは相手の立場に立って命を尊重しようとする意欲を高めていた。

寄居小学校 5年1組

道徳の授業(内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)(教材名 オオカミから教えられたこと)を実施し、登場人物が行ったオオカミへの治療について話し合うことから、「命をかがやかせる」ことへの考えを深めた。見童の振り返りでは相手の立場に立って命を尊重しようとする意欲を高めていた。

寄居小学校 5年2組

道徳の授業(内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)(教材名 その思いを受けついで)を実施し、自分の命も他の人の命もかけがいのない大切なものであるということを見童一人一人がじっくり考えることができた。振り返りの場面では、たった一つしかないかけがえのない命を大切にしていきたいと感じた見童が多く見られた。

寄居小学校 6年1組

ひまわり学級で道徳の授業(内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)(題材名命一せいいっぱい生きる一)を実施し、生きることの大切さを考えることができた。見童の振り返りでは、「命はかけがえないものだ。だからこそ毎日を大切に生きよう。」と決意する姿が見られた。

寄居小学校 たんぽぽ学級

すみれ学級で道徳の授業(内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)(題材名 命一せいいっぱい生きる一)を実施し、生きることの大切さを考えさせた。見童の振り返りでは「自分の命もまわりの人の命も大切にしていきたい」と決意する姿が見られた。

寄居小学校 すみれ学級

道徳の授業(内容項目D生命の尊さ)教材名「生きている じぶん」の授業を行った。実際に自分の体に触れ、心臓の鼓動や体温を感じたり、話し合ったりすることを通して、生きていることや生命の尊さに気づき、生命を大切にしようとする意識の高まりがみられた。終末に「命」に関連した絵本を扱うことで、より自分のこととして考え、「自分の命を大切にしていきたい」という発言や記述がたくさんみられた。

桜沢小学校 1年1組

道徳の教材「今のぼく、むかしのぼく」内容項目「D生命の尊さ」の授業を行った。「命がどうして大切なのか」という学習課題を立て、自分の生命は多くの人たちによって大切にされ、支えられていることを知り、自分の命を大切にしようとする態度を育むことをねらいとした。

桜沢小学校 2年1組

道徳の授業で、「光祐くんのアサガオ」(内容項目 D 生命の尊さ)を行った。光祐くんの生き方やお母さんの思いについて話し合うことをとおして、一生懸命に生きることのすばらしさに気づき、命を大切にしようとする心情を育てるねらいで実施した。教材をとおして、自己の命や命あるものに対して大切にしようとする意識が高まった。

桜沢小学校 3年1組

道徳の授業で、「精いっぱい生きよう」（内容項目 D 生命の尊さ）を行った。由貴奈さんが考える「命」について話し合うことをとおして、一生懸命に生きることのすばらしさに気づき、命を大切にしようとする心情を育てるねらいで実施した。教材をとおして、一つしかない命を大切に精いっぱい生きようとする意識が高まった。

桜沢小学校 4年1組

道徳の授業で「差別のない社会へ」の導入で（内容項目 C 公正公平、社会正義）、いじめはやってはいけないことであり、SNS の使い方を間違えると人の命を脅かすことにつながったり、差別につながったりすることを考えさせた。いじめをなくし、差別をなくすためには、お互いを認め合うことが大切であると考えることができた。一人一人大切な命があることを、しっかり考えることができた。

桜沢小学校 5年1組

道徳の授業（内容項目 D 生命の尊さ）教材名『生かされている「大切な命』の授業を行った。「いかされている私」とはどういう意味なのかについて話し合うことを通して、児童一人一人が、自然や人がつながっていることへの考えを深めていた。また、さまざまな人々とのつながりの中で支えられていることを自覚し、自他の命を大切にしていきたいという発言や記述がたくさんみられ、生命を大切にしようとする意識の高まりがみられた。

桜沢小学校 6年1組

2年1組で道徳の授業(内容項目 D 生命の尊さ) (題材名 いただきます) を実施した。資料から考えさせ、生きるもの全てに生命があること。一つ一つの生命を大切にしなければいけないことについて主体的に考えることができた。児童の振り返りでは「命を食べて生きていることを初めて知った。食べ物を大切にしたい。また、自分も友達にも一つしかない命があるから、大切にしたい」と価値についての理解が深まった。

用土小学校 2年1組

道徳の授業（内容項目 D 生命の尊さ）（題材名 光祐くんのアサガオ）を実施した。発問を重ねながら、命は一つしかないこと、家族にとって子供はかけがえのない存在であること、について考えを深めていった。児童の振り返りでは、命は一つしかないということを実感している発言が多く聞かれた。

用土小学校 3年1組

4年1組で道徳の授業（内容項目D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること）（題材名 おばあちゃんとの思い出）を実施した。まず、命とは、一人一つしかないものでなくなったら元には戻らないもの、お父さんのお母さんがいるからこそ生まれたものであることを確認した後に、範読を行い、話に入りやすく工夫をした。振り返りでは、「自分の命は、おうちの人など周りの人に支えられていることに気づいた。」など、多くの人に支えられて成長している大切さについて理解を深めることができた。

用土小学校 4年1組

5年1組で道徳の授業（内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること）（題材名 一人はみんなのために… -元木由記雄-）を実施した。スポーツを習っている児童も多いことから、元木さんの考えの変容により共感し、誰しもが抱えている自分の弱さを、信頼する者同士で支え合うことで克服していけることを学んだ。児童の振り返りでは、「自分勝手に考えず、頼ったり頼られたりしながら、お互いを高め合える」と、気持ちを新たに作る姿があった。

用土小学校 5年1組

道徳の授業で「2つのアサガオ」（彩の国の道徳）を実施。セロテープでつぼみをつけるが、とってしまったアサガオは次の日に咲くことはなかった。咲いたアサガオとセロテープでつけたアサガオを比べ、生命尊重について考えた。毎日自分で育てているアサガオを大切にしようという気持ちが強くなった。

折原小学校 1年1組

道徳の授業で「たんじょう日」（内容項目D 生命の尊さ）を実施。我が子の誕生に際して、長期間にわたり苦労をいとわず行動した母親とその子どもの話を聞き、なぜ母親にそのような行動ができたのかを考えた。自己の生命のかけかえのないことに気づき、考えを深めた。

折原小学校 2年生・3年生複式学級

道徳の授業「わたしって何？」（内容項目D「生命の尊さ」）を実施。心が傷つき自分の存在を見失ったときの登場人物の苦しさや悲しさを考えさせた。活動を通して、親から授かった命がかけがえのないものであることを実感し、自他の命も大切にしていこうというねらいに迫った。

折原小学校 4年生・5年生複式学級

道徳の授業「その思いを引きついで」（内容項目D 生命の尊さ）を実施。じいちゃんの死（大切な人の死）について友達と話し合い、限りある命を大切にしようとする心情を育てることができた。

折原小学校 6年1組

(1)道徳科「生きているじぶん」(D 生命の尊さ)の実施。

「生きているからできること」について考えることを通して、生命の大切さを実感した。日常生活の中の行動は生命があるからこそ成り立っていることに気づくような発言もみられた。

鉢形小学校 1年生

(1)道徳科「今のぼく むかしのぼく」(D 生命の尊さ)の実施。

自分が生まれたころのことを確かめる「ぼく」の気持ちについて話し合うことをとおして、生命を大切に生活していこうという意欲を高めた。発言やワークシートから、自分の生命が多くの人によって大切にされ、支えられていることに気づいていた。

鉢形小学校 2年生

(1)道徳科「ヒキガエルとロバ」(D 生命の尊さ)の実施。

ロバがしたことの良いところを話し合うことをとおして、命の尊さについて考えを深めた。発言やワークシートから、命あるものを大切にしようとする様子がみられた。

鉢形小学校 3年生

(1)道徳科「家族のアルバム」(『みんななかよし』D 生命の尊さ)の実施。

たくやの心情を考えることを通して、生命の尊さを感じとった。発言やワークシートから、命あるものを大切にしようとする様子がみられた。

鉢形小学校 4年生

(1)道徳科「オオカミから教えられたこと」(D 生命の尊さ)の実施。

坂東さんが行ったオオカミへの治療について話し合うことをとおして、相手の立場に立って命を尊重しようとする心情を育てた。発言やワークシートから、「命をかがやかせる」ことへの考えを深めているようであった。

鉢形小学校 5年生

(1)道徳科「その思いを受けついで」(D 生命の尊さ)の実施。

おじいちゃんがのし袋の手紙を用意した理由について話し合うことをとおして、限りある命を大切にしようとする心情を育てた。発言やワークシートから、「命」はさまざまな人々とのつながりの中で支えられているということの考えを深めているようであった。

鉢形小学校 6年生

道徳の授業（内容項目D 生命の尊さ）（題材名 二つのアサガオ）を実施し、資料から考えさせ、なかまタイムで意見を出し合いながら行った。「命は一つしかない。」「命はもどらない。」「命を大切にしたい。」という感想がでた。

男衾小学校 1年生

道徳の授業（内容項目D 自然愛護）（題材名 虫が大好きーアンリ・ファーブルー）を実施した。アンリ・ファーブルの虫への接し方について考えさせ、ファーブルの行動の裏には、虫の命を大切にしたい気持ちがあることに気づくことができた。児童の振り返りでは、「生きものにやさしくしたい。」「生きものの命を大切にしたい。」と言った内容がみられた。

男衾小学校 2年生

道徳の授業（内容項目D 生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること）（題材名 ヒキガエルとロバ）を実施し、資料から考えさせ、児童同士で学び合う場面を設定することで、児童が命について主体的に考えることができた。児童の振り返りでは、「たった一つしかない命をこれからも大切にしていきたい。」「自分の命だけではなく、相手の命も大切にしていきたい。」等決意する姿が見られた。

男衾小学校 3年生

道徳の授業（内容項目D 主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること）（題材名 稲むらの火）を実施した。資料から主人公の心情を考えさせた。その後、自分自身に置き換えて考えた。ペア学習や全体での意見交流を通して、考えを深めさせた。児童の振り返りでは、「1つしかない命を大切にしていきたい。」との記述が多くみられた。

男衾小学校 5年生

たんぽぽ、ひまわり学級での道徳の授業（内容項目D 主として生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること）（題材名 がんこちゃんの生まれた日・今のぼく、昔のぼく）等を実施し、資料から生命の尊さ、生きることの素晴らしさを知り、自分の生命を大切にすること、そして他の人の命の大切さを考えさせることができた。児童の振り返りでは、「自分が生まれてきたとき、みんながすごく喜んでくれたことを忘れないようにしたい。」「これからも頑張りたい。」と話す姿が見られた。

男衾小学校 たんぽぽ・ひまわり学級

6/19～7/10(月)の期間の道徳の授業で学年主任が(内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)(題材名 曙号の死)等を実施し、資料から考えさせ、生徒同士で学び合う場面を設定することで、生徒が命について主体的に考えることができた。生徒の振り返りでは「生命の有限性、命を大切にしたい、人間だけでなく命あるものを大切にしたい」と決意する姿が見られた。

寄居中学校 1年生

6/19～7/10(月)の期間の道徳の授業で学年職員がローテーション授業を活用して(内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)(題材名 燃え盛る炎)(題材名 君、想像したことある?)を実施し、資料から考えさせ、生徒同士で学び合う場面を設定することで、生徒が命について主体的に考えることができた。生徒の振り返りでは「一生懸命に生きることの素晴らしさを実感し命を大切にしたい、いじめをする人間の心の弱さや差別や偏見のなくしたい」と決意する姿が見られた。

寄居中学校 2年生

7/10(月)の道徳の授業で学年職員が(内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)(題材名 ひまわり)を実施し、資料から考えさせ、生徒同士で学び合う場面を設定することで、生徒が命について主体的に考えることができた。生徒の振り返りでは「生きることの素晴らしさを考えることができた、前向きに生きることの大切さ笑顔を絶やさないことが人生を明るくするので、そういう人になりたい、自分の人生は自分で切り拓いていくことが大切であること、力強く生きたい」と決意する姿が見られた。

寄居中学校 3年生

『内容項目 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること』を取り扱い、1学年では「曙号の死」、2学年は「燃え盛る炎」、3学年は「ドナー」の教材を通じて、「命の大切さ」について考える授業を行った。生徒からは「命はかけがえのないものなので、自分の命も他人の命も大切にすることが大切だ」「人生は限りあるものだから、いろいろなことに一生懸命に取り組んで人生を充実させたい」などの感想があり、命を尊重する態度や命の有限性を理解し前向きに生きようとする態度が見られた。

城南中学校 全学年

道徳の授業で「あなたの『生きようとする力』」を実施した。赤ちゃんの誕生と生命が生きるの意味について考えることを通して、職員と意見を交わすだけでなく、友達のいいところを紙に書いて渡す取り組みも行った。

男衾中学校 1年生

道徳の授業で、「燃え盛る炎」という題材を通して、生きることの意味や価値について個人やグループで考え、意見交換を行った。生徒の振り返りでは「自分も一生懸命に生きて後悔のない人生を送りたい」と決意する姿が見られた。

男衾中学校 2年生

道徳の授業(主として生命や自然・崇高なものとの関わりに関する事)(題材名 ドナー)を実施し、資料から考えさせ、生徒どうしや教員と話し合う場面を設定することで、命について主体的に考えることができた。振り返りでは「自分も家族も他者の命も平等に大切にしたい」と考える様子が見られた。

男衾中学校 3年生